

2026年3月24日

広島支社に国内6拠点目となる 再生可能エネルギー100%※1の電気を導入 — 年間のトータル削減量は約848t-CO2に —

ものづくり商社のリーディングカンパニーである株式会社山善（本社：大阪市西区、代表取締役社長：岸田貢司）は、2026年4月1日より、当社広島支社の購入電力を再生可能エネルギー100%※1の電気（以下、再エネ電気）に切り替えます。再エネ電気は、2021年10月に基本業務提携契約を締結した、大阪ガス株式会社（以下、大阪ガス）100%子会社のDaigas エナジー株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：福谷博善 以下、Daigas エナジー）を代理店とし、大阪ガスの「D-Green RE100」※2を通じて調達いたします。



山善 広島支社 外観

当社は、2022年度にTCFDへ賛同し、2050年度には実質カーボンニュートラルを目標として脱炭素への取り組みを進めています。そうした中、当社のScope2（エネルギー間接排出）となる事務所、物流施設などの電力消費削減のため、2022年より国内の主要拠点の電力を再エネ電気「D-Green RE100」に切り替えています。今回、広島支社に再エネ電気を導入することにより、年間約48t-CO2を削減します。他の拠点との合計削減量は、年間約848t-CO2を見込んでおり、一般家庭約340世帯分※3の年間CO2排出量に相当します。

再エネ電気導入日	導入拠点	CO2削減量
2022年7月1日	大阪本社	約428t-CO2
2022年11月4日	ロジス大東	約167t-CO2
2023年8月19日	仙台支店	約40t-CO2
2024年4月8日	名古屋支社	約81t-CO2
2025年4月1日	九州支社	約84t-CO2
2026年4月1日	広島支社	約48t-CO2

当社はこのほか、大口の排出源となるScope3カテゴリ1（購入した製品）の削減を目指し、仕入先メーカーへ再エネ電気を供給するコーポレートPPA事業※4「DayZpower」や、Scope3カテゴリ11（販売した製品の使用）の削減を図る省エネ商品の販促企画「グリーンボールプロジェクト」を展開しています。当社の「グリーンビジネス」については、コーポレートサイトにてご確認いただけます。<https://www.yamazen.co.jp/business/green-business/>このように「グリーンビジネス」と「サプライチェーン全体での排出量削減」に取り組むことで、環境価値の創出と事業成長の両立を推進し、ものづくり産業の脱炭素化に貢献してまいります。

※1:火力や原子力等を含まない再生可能エネルギーにて発電された電気に、非化石証書（再エネ指定）を付加したものです。

※2:FIT 制度（再生可能エネルギーの固定価格買取制度）を利用した電源を含む再エネ電源の非化石証書が、再エネ電気とともに供給される電気料金メニューです。「D-Green RE100」は、「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たしています。

※3: 1世帯当たり年間 2.47t-CO₂ で試算しています。

[出典]環境省「令和 5 年度家庭部門の CO₂ 排出実態統計調査資料編（確報値）」より

※4:コーポレート PPA とは、「Power Purchase Agreement（電力購入契約）」の略で、発電事業者が自らの負担により太陽光発電設備を無償で設置し、発電した電気を顧客に販売するモデルのことです。コーポレート PPA モデルを採用することで、顧客は設備における初期投資や設備の維持・管理の負担がないというメリットがあります。

※ ニュースリリースの内容は発表時のものです。
閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

(お問合せ窓口) 株式会社 山善 広報・IR室 担当 米田
電話 06-6534-3095
E-mail : info07@yamazen.co.jp